

かける 四国

香川県が全国ワースト1 まんできんの目標は、この脱出を目指す「糖尿病受療 検査を全県民が受けること率」。人口10万人当たりでだ。石田が管理栄養士など何人が糖尿病治療をしていと一緒に街角に出向いて実るかという割合だ。

特定非営利活動法人(N PO法人)「香川糖尿病支 援まんできん」理事長の石 田俊彦(66)の役割は県が 不名誉ととらえるこの数字 をさらに引き上げることか もしれない。「糖尿病患者 が多い、という点では確か に『ワースト』だが、一方 でちゃんと治療している 人が多いという側面もあり、 そこはむしろ誇っていい」

「通常の健康診断などで は結果通知まで間隔が空 が多い、『要相談』『要 治療』でも、病院に行かな いことも多い」。まんでき んの活動で、検査や早期に 治療を受ける人が増えれ ば、当然受療率は上昇する。 糖尿病検査に用いられる HbA1c。過去1~2カ 月の平均血糖値が分かる。 どが3月に設立。「まん

「糖尿病県」脱却へ奔走

「香川糖尿病支援まんできん」理事長

石田 俊彦氏



「患者とともに考える医療を目指したい」と語る石田理事長(高松市のキナシ大林病院)

きちんと予防、きちんと治療

がんは「全部」といった脱却。啓発活動や検査以外 意味の讃岐言葉で、糖尿病 にも、ウォーキングや糖尿 対策や予防などやれること 病予防の料理教室など様々 は、まんできんやることを なイベントを開く考えだ。 医師として糖尿病と向き 合って約40年。若き日の石 「糖尿病県」「歩かん県」 田は時に、患者に厳しく当 目指している。掲げるのは 野菜を食へん県」からの

いしだ・としひこ 1945年(昭和 20年)、岡山県生まれ。70年岡山 大医学部卒業。2000年に香川医科大(現 香川大医学部)教授、07年4月~11 年3月まで香川大医学部付属病院 長。11年10月からキナシ大林病院糖 尿病センター長。香川大名誉教授。

や自作の川柳を用いて、楽 しみながら糖尿病対策を身 につけてもらう工夫をして いる。目指すのは患者と同 じ目線に立つことだ。 医療機関相手でも同じ だ。最初は、元香川大医学 部付属病院長で糖尿病の権 威でもある石田が来るとい うので病院側も疑心暗鬼に なる。「うちの病院の診療 にケチでも付けに来るの か」。石田は病院長だった 時代の「恩返しの出前相談」 と呼んで警戒を和らげる。 糖尿病患者を診る医師のう ち、多くは専門医ではない ので、恐る恐る聞いてみ たため、難しい症例への助言 をすることなどが目的だ。 石田の父も医師だったが、 うどんは大丈夫ですよ」 糖尿病を患い、5年前に心 臓疾患で亡くなった。遺言 は「病理解剖して、しっかり見せておけ」。解剖に立ち 会って、動脈の状態などを 確認した。30年にわたる闘 病の結果を、息子の研究の ために生かそうとした父の 最期の遺志だった。 そして、実は石田自身も 「軽い」糖尿病だ。「夜遅 く食べるし、睡眠は短いし ……」だからこそ患者の つらさが分かるという。 香川県で糖尿病という 取り沙汰されるのが「うど ん」だ。目下の県最大の「売 り」であり、県民の間にも うどん好きは多い。

支局 高松 0807-833133
徳島 0878-33344
岡山 0866-211244
山陽 0869-941124
広島 083-934480
知 0866-991124
0866-991124
0866-991124
4330309